

JCIに入会して良かった事



2016年度幹事会出席
市井 秀樹

入会させていただけた事で、自分自身がある事によって世界の事をより詳しく学ぶ機会や、世界の文化を理解する機会など、今まで得ることの出来なかった事に出会えて、とても嬉しいです。JCIは、自分自身の成長と、社会貢献の機会を提供してくれる素晴らしい組織だなと感じています。



2016年度幹事会出席
竹田 伸也

私は1年半前にJCIに入会してから「新規事業」として開拓活動であります。これまで岡山県議会議員選挙の開票式に参列してもらったり、高齢者に会ってお話を伺う機会など、JCIを通じて多くの経験を積むことが出来ました。これまでの経験を活かして、今後もJCIを通じて、より多くの人にJCIの良さを伝えていきたいです。

Junior Chamber International Okayama

公益社団法人岡山青年会議所 入会のご案内



私たち公益社団法人岡山青年会議所は、20歳から40歳までの次世代を担う若きリーダーが集う組織です。交流範囲の幅広い人々との「出会い」「学び」「成長」を織り進めます。地域社会や組織において、より豊かなリーダーとなるための基礎知識を重ね、より豊かなまちづくりと人づくりを目指します。皆様もぜひ私たちと一緒に岡山青年会議所で、新たな可能性にチャレンジしましょう。

年齢・資格

溝20歳以上30歳以下(18才1生～54才1生)の婚前のある男女

募集期間

随时募集しております。詳しく述べは、下記回答欄までお電話にてご連絡ください。

入会に際して必要なもの

- 会員登録料(会員登録料と別途支払うことがあります)
- 会員登録料(会員登録料と別途支払うことがあります)
- 会員登録料(会員登録料と別途支払うことがあります)
- 会員登録料(会員登録料と別途支払うことがあります)
- 会員登録料(会員登録料と別途支払うことがあります)
- 会員登録料(会員登録料と別途支払うことがあります)

(奉仕局)

TEL:086-223-0938 FAX:086-225-0200 Email:info@jci-okayama.org
〒700-09385 岡山市北区厚生町3-15 岡山商工会議所ビル4F

2017年度 岡山JCホームページ・facebook

岡山JCではホームページでも情報をお届けしております。
事業紹介や会員賞状大博報など毎月更新しております。
お気軽にホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.okjc.org/2017/>



facebook

<https://www.facebook.com/jci.okj/>



2017年度 広報誌「暖流」秋号 Vol.3

次号は12月発行予定です

■発行日／平成29年9月06日

■刊行／公益社団法人岡山青年会議所

〒700-2985 岡山市北区厚生町3-15 岡山商工会議所ビル6F

TEL:086-223-0938 FAX:086-225-0560

URL:<http://www.okjc.org/> E-mail:jci-okayama.com

■発行責任者／公益社団法人岡山青年会議所

副会長／高橋義典会員／金沢 隆志

会員課長／藤井洋輔会員／鈴木 敏政 備山 良輔

会員課副長／佐々木一郎会員／白川 遼士

会員課課員／高橋 真理会員／高橋 淳一



Junior Chamber International Okayama

公益社団法人 岡山青年会議所



2017
Vol.3

岡山青年会議所編

暖流

www.okjc.org/2017/



公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会に出向した一日密着レポート 井戸事務局長の一日



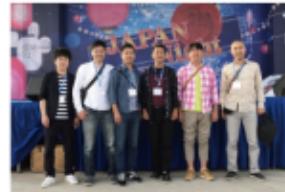
インタビュアー:今年度は岡山青年会議所から公益社団法人 日本青年会議所 中部地区協議会に佐野会長をして出向している中、井戸副委員長は事務局長として出向をされていますが、平面な感想を教えてください。



いたい佐野会長は感謝しております。ありがとうございます。

インタビュアー:それでは、中国地区協議会出向ではどのように活動をされていますでしょうか。

井戸事務局長:主には正副会議長と役員会議の設営と運営になります。少し違うかもしれません、岡山青年会議所で百人規模委員会のようなものです。岡山では中国地区協議会議員会議は午前と午後の2日で開催しているのですが、佐野会長の議論が結構少ないという意見の元、今年からは正副会議を行った後の約1週間間に役員会議を開催しています。客観的に見て、そこは岡山青年会議所と四つで、ある程度議論を換する時間がある方がより良い事業計画書が出来上がるようになります。また、京都会議やサマーコンファレンスでの中国地区ナイトの役員やJCIA ASPAC ウランバトル大会ジャパンサイトでベースを出版しました。そして、9月8日、9日と中国地区



井戸事務局長:率直な感想としては、佐野会長が地元に赴くされていないければ経験ができない場所に参加させていただいていると感じています。まず、佐野会長ははじめとおられます役員メンバーの皆様が本当に優秀な方々ばかりです。OJMの運営実績などを何とかおれますし、雪葉の一つづきもよく、学びや気づきが多い貴重な経験をさせていただきました。また、私は事務局長としてメンバーと共に正副会議や役員会議を後援させていただいているのですが、その会議に参加することはこれからの青年会議所活動に繋がることを多く学べています。中国地区協議会に出向することは楽なことはありませんが、その苦労以上に学びがあり、事務局長に満足していました

コンファレンス2017が開催されますので今はその準備で忙しくしています。



インタビュアー:岡山青年会議所との違いを大きく感じるところがあれば教えてください。

井戸事務局長:他のJOCMが運営しているわけではないですが、礼儀、禮節の部分が岡山青年会議所は應接していると感じました。やはり、岡山青年会議所はほんとであります会議修査委員会があるからだと思います。多摩経済幹事が会議の運営でサポートで来っていましたが、私も地区に行く時に某産業が出てないように高い意味で初めて活動しています。他のJOCMの良いところを学び、そして岡山青年会議所の良いところを伝えるようにバランスをとっています。



インタビュアー:場所は違えどやはり同じような立場で出向される所と似たような意識になるんですね。それでは今後の参考として大事だったことを少し教えていただけたらと思います。

井戸事務局長:やはり一員大変であったのは移動です。新幹線や電車といった移動手段があまり良いのですが、新幹線、電車の後はバスしか移動手段がない場合が岡山ありました。それで、基本は車部長で、4人荷物搬送は当たる前という世界です。大抵は運びが、もしくは午後に車部長などと運んで聞かなければなりません。佐野会長が各OJMの幹事会議に出席される場合は、1日目が役員会議、2、3日目は幹事会議ということもあったりしてスケジュール要領が複雑でした。しかし、苦労した分、色々な人に出会い、各OJMの式典を行ったことで学べることを教わる機会がありました。本当に事務局長として付けて頂けて良かったと思います。



インタビュアー:最後に、今後出向する可能性があるメンバーに何かアドバイスがありましたら教えてください。

井戸事務局長:やはりスタッフとして出向することをお勧めします。私が経験して思うことは、事務委員会が運営する量が違うことです。私も日本青年会議所にフロアとして出向したことがあります。当時と比較すると幹事の学んでいる量は比べ物にならません。入る繋がりの深さも変わってくると思います。フロアとして出向することが悪いとは思いませんが、もしチャンスがあればスタッフとして出向していただき、人生の財産になるような貴重な経験をしていただけたらと思います。



Profile

井戸 啓太(いと けいた)

昭和58年生まれ。2014年度後期に岡山青年会議所に入会。本年度LOM内では、会員交換会部門外委員会幹事委員会として活動。

事業報告

キッズスポーツフェスティバル 2017 サッカー編



昨日の子供のスポーツarena、運動能力の低下が問題視される中、トップクラスの技術に触れることで、スポーツを始めたきっかけづくりをすることを目的に、ファジアーノ岡山にご協力いただき「キッズスポーツフェスティバル 2017 サッカーフェス」を開催しました。雨風を忘れるような好天の中、200人の児童が参加しました。またファジアーノ岡山から選手10名とコーチ1名のチーム。今回岡山大学サッカーチームの学生10名にも協力をいただいた開催となりました。準備会議では、練習で失敗のビデオを繰り返すという貴重な経験もさせていただき、サッカー教室では選手やコーチが丁寧に参加者にサッカーの基礎から指導していただき、熱心に練習をしていました。天気も良くて、200人の参加者全員が一度ピッチに入り、疲れた筋肉を存分に発揮していました。ピッチ中にたくさんのゴールを入れ、必死になってボールを運びかける参加者の姿と、その勇姿が印象的でした。そして閉会式では選手と理事長から熱いエールをいただき、炎天下での開催になりましたが、会場が熱気があふれ、大きなトラブルもなく無事終了することができました。また事業終了後は多くの参加者が懇親会を遊び、スポーツの楽しさを伝えることができたと同時に、岡山で活躍するチームの説明を感じていただけたことと思います。事業当時は公式戦前のピッチを借りての開催だったため、事業終了後ではサポート者が入場した中で、多くの市内在住の青年会議所の会員を見ていただける機会となりました。また事業後もテレビ局さんや事業の報道を放送していただき、若者性を発揮した事業を実現することができました。この事業を通してスポーツを始めた子供が1人でも多く増えることを期待しています。参加者の皆様、ご協力いただいたすべての関係者の皆様、本当にありがとうございました。

まちづくり室 スケーラビリティ創造委員会 副委員長 高山第一

事業報告

第46回大阪青年会議所・岡山青年会議所交歓会



6月21日(水)に第46回大阪岡山交歓会が大阪の地にて開催されました。当日は大慶青年会議所の心臘の元おもてなし下さいました。毎年おこなっていただきまして有難い年次会となりました。初回に「オランコバックス新駅前店3ビル」の会議室にて岡山青年会議所、大阪青年会議所の活動報告を行いました。岡山青年会議所では本年度開催をいたしました、「まちづくり事業」を中心とした事業報告・事業説明をさせていただきました。大阪青年会議所からも、「なんばく府民事業」、「グローバルリーダーシップ研修事業」、「まちづくり事業」などの事業報告・説明をしていただきました。交歓会では大慶青年会議所ならではの心臘の元おもてなししが学ぶことができました。今後も先輩から受益いだこの交歓会を系統的に共に切磋琢磨できる会となるよう両青年会議所が進むる交歓会となることができました。

会員交流室 洋子委員会 副委員長 関 和歌

サマーコンファレンスLOMナイト



7月22日(土)サマーコンファレンス後にLOMナイトを横浜の池にて開催いたしました。今回のサマーコンファレンスLOMナイトは例年の出席者懇親ナイトを改題しない設営となりましたが、多くのLOMメンバーよりお越しいただくことができました。新しい試みとしてさあ、LOM活動を行い、食べ廻しの減少で寝食する事だけでなく、その時に周囲のメンバーとの会話を多くすることができ、新たな絆ができたのではないかと考えております。また、サマーコンファレンスのファンクションの開始を徹底されれば、LOMナイトでも多くのファンクションの内容や出向者との会話を深んだのではないかと思っております。下半期の事業でもメンバーや同士の交流がさらに加速され、より一層仲を深める事ができるように設営を行って参ります。

会員交流室 交流促進委員会 副委員長 向 祐弘

事業報告

第24回 うらじや2017



9月5日、6日の二日間、東京の両国会場のと、第24回うらじやが盛大に開催されました。当社は、約300人の参加者、賛助席が無い、1,300名もの来場者、5,700人の入場者など、非常にうらじやの盛況が両会場を中心各地で報道されました。運営されていた会場の趣意も豊富、大きな催し物や特典などの大好きな問題もなく、無事成功裏に終えることが出来ました。これも、ひとえに第24回うらじやを応援してくださった皆様からのお陰、踊り手、観客、ボランティアとして活動してくださった皆様からのお陰、運営のご協力、横濱の方々の皆様であります。改めてお礼申し上げます。



また、この開催に際しては、さらじや実行委員会が開催地として行動やマスコミ、地元林、学生、団体、ボランティアとの連携・湖相投投票しその活動をもたらしたこと、これまでうらじやもあまり聞かれなかった鷲山会が隠れながら企業へのPR機会化やボランティアスタッフのPRの面倒をこなし、SNSでの影響力を維持し広告新アイテムを作成、街頭の掲揚等での大きな影響と新デザインへの反響をいたしました。また、うらじや地図が活用され、両会場会場を中心に多くの市民や店舗の方たちに理解や賛同を貰いつづけていくことができました。また、両会場とも会場運営が、中心的な役割を演じて、具現化された形であります。



また、うらじや運営会議にては、本業的観点での教育指導への取り組み、プロスポーツチームとの共同開催としてアリババー、鷲山ホール、ゲームでのうらじやを行いました。今年もうらじやを盛り上げるひととおりが、喜んで今後を誓うに座るまちづくりや森林緑化をしていくためには、若い世代の皆さんが大いに携わることであります。

まちづくり署 まちづくり委員会 斎藤義樹 平田知之



事業報告

第24回 うらじや2017



事業報告

第4回キッズビジネスパーク2017 ～だれかのために！で広げるおかやま～



事業報告



今年で4度目を迎えた本事業は、岡山市や岡山市教育委員会をはじめ、多くの皆さんに注目されており、岡山青年会議所としても本年度のコンセプトを表現する絶好の事業ということで、企画段階からL-MU一丸となって本事業に打ち込んでまいりました。先生と一緒に外の人と接する機会が少なくなったり、職業に対する機会も減少し、子どもたちが将来の夢を具体的に描く事が少しなくなっている中、職業体験を行い様々な職業を両方見て学ぶことで、自分が思ひ描く未来や進みたい道、やりたい職業を考えていただく機会を提供することを目的に、年次度のキーワードである「協働性」を意識しながら、我々の事業に対する思いをどれだけ多くの皆さんに広め、過去にない規模で、様々な団体と「協働して行える、岡山の青少年育成事業」にすることを目指に掲げました。席横の協奏により会場はコンベックス岡山で開催し、参加児童数1,007名、来場者数6,216名、出展ブース数54ブース、協力企業42社（+クロース12社）、協賛企業42社、協力校5校、ボランティア数18名といい、すべての項目が過去を上回る実績で、岡山青年会議所としても期せずして誇りを感じました。また、新しい取り組みとして、岡山で活躍するNPO法人やボランティア団体等、まだ活動や名前が認知してはいないものの、私たちと同じように僕らを支持して活動している団体の認定PRを目的に、12団体のPRブースを設け、活動のお手伝いをさせて頂きました。当日、会場のどのブースも子どもたち・企業・ボランティアの皆さんの笑顔・活気で満ち、大盛況にて幕を閉じることができました。本事業を新たなきっかけとして岡山青年会議所が岡山のまちづくり・ひとづくりを牽引していくよう意識し、より多くの人々を巻き込みその輪を広げさせていくよう邁進したいと思います。ご協力頂きました全ての皆さんに感謝申し上げます。

まちづくり実 開拓アドバイス委員会 副委員長 天野 大輔

お知らせ

2018年度理事長予定者紹介



第6代理事長予定者 青木 浩平

■プロフィール
誕生日：1971年9月3日生まれ
入会年数：2003年
学年：准会員（第6代）
専門：農業生産方式化 審査評議会
備考：2000年4月 農業生産方式化 審査評議会
2002年4月 農業生産方式化セミナー
2003年4月 農業生産方式化セミナー
講師の深見

私たちが暮らし、生業を営む郷土おかやまは、団塊が少なく、種族な気氛で、交通の絆点としての利便性が最もよく、種族したまちの自信に酒ばれ続けています。また、全国と比べ人口の増加や減少は、避けられない課題となっています。人口減少によって引き起こされる問題は、産業の活性不足や、地域コミュニティの機能低下など、私たちの身近なところばかりです。おかやまに残る人々には、若い世代がおかやまに移住する人を見やさすために、若い世代が生き生きと暮らせるまちでなければなりません。そのためには、一つでも多くの魅力を見出します。私たちの活性化を目指す必要があります。若い世代が夢を描けるまちの創出に向け、岡山青年会議所は、おかやまにしないためにアシタブル山の高い地域資源を繋ぎ起し、新たな命の流れを生み出します。まちを活性化させて参ります。その実現のために、時には、岡山青年会議所本体を見るのではなく、様々な団体と手を携え、それぞれの強みを活かし、まちづくりを

2018年度 執行部予定者紹介



副会長予定者
高見 宜葉



副会長予定者
間部 恵一郎



副会長予定者
宮内 一範



ひづくり隊
副会長予定者
野村 昌勲



まちづくり隊
副会長予定者
岸 伸史



安政園
副会長予定者
小林 佑輔



副会長
青年事務
古市 聰一郎



安政園
青年事務
松江 勝也



副会長
青年事務
仲村 雅人

お知らせ

2018年度 新理事予定者紹介



岡山県のひづくり委員会連絡会議 理事長候補予定者
關 和敏

次年度まちづくり委員会感動れるまちおかやま創出委員会の理事長候補予定者を仰せつかる重責の大きさを感じております。当委員会はまちが夢を描ける地域資源・能力を追求し、事業開拓・青年会議所のこれまでの活動にこれからの方の存在意義を後押しに残す事業開拓組合です。私たちがこの組織で運営していく活動が「共感されるまちおかやまの創出」に繋がると確信し、共感されるまちの創出に取り組んで参ります。1年間何卒お願い申し上げます。



まちづくり委員会 理事委嘱候補予定者
平田 知之

今年度のまちづくり委員会活動を基に、引き続き、岡山県大会の祭りでもある、うらじゅうに関わらせていただることになりました。次年度は、理事委嘱担当というより責任のある立場として、身のこなき幹事をめざします。メンバーの経験と成長を常に意識しながら、日々の活動にまちづくり盛んなうらじゅうを創造出来るように、市民の街懇と手を取り合い、共感の輪を広げ、誰もが語りに思えるおかやまのまちづくりに邁進してまいります。



青年外務会議 理事委嘱候補予定者
杉 大和

次年度、安政園海外委員会の委員長となりますが、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。岡山青年会議所メンバーや、他の青年会議所メンバーやを含め、会員全員への入論と心地いい雰囲気が満ちています。利根川の精神で「礼儀正直」、「おでなし」を体現していただき、参加者皆様の意を合わせる事ができる。富士の安政園の顔を作っています。また、委員会メンバー一丸となり、日頃の活動や事業を行なう事により、必ず委員会メンバーを説得させてまいります。



石井のひづくり委員会 理事委嘱候補予定者
石井 圭聖

次年度、就職選考外委員会の委員長となりますが、その大きな役を拜託いただき、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。岡山青年会議所メンバーや、他の青年会議所メンバーやを含め、会員全員への入論と心地いい雰囲気が満ちています。利根川の精神で「礼儀正直」、「おでなし」を体現していただき、参加者皆様の意を合わせる事ができる。富士の安政園の顔を作っています。また、委員会メンバー一丸となり、日頃の活動や事業を行なう事により、必ず委員会メンバーを説得させてまいります。



新規委員会 理事委嘱候補予定者
高山 晃一

2018年度新規委員会理事委嘱候補予定者
高山 晃一
という実務を経てから、その責任の重さを感じております。今、岡山青年会議所では断たれた歴史を倒ね、多くのメンバーが入会をしていきます。だからこそ不思と行動を考え、引き継ぐべきものと新たに覚えるべきものを戒極め、公益社団法人のまちに届かない新たな組織運営を展開し、岡山青年会議所の価値を高めて参ります。そして活動を通してメンバーが成長し、能動的に行動ができる委員会運営をして参ります。

